

NEWS IN BRIEF

Hawaiian waters yield corals with thirst for originality

ハワイの海にはオリジナリティーあふれるサンゴがいっぱい

Nature Vol.458(137)/12 March 2009

米国ハワイ州の自然保護区である国立パパハナウモクアケア海洋モニュメントの深海域で、サンゴの新種が7つ見つかかり、6つの新属として分類された。

これらのカラフルなトクササンゴ類は、2007年11月に3週間にわたって行われた同保護区の調査で発見されたもので、なかには4000歳になるものもあった。この保護区は、2006年にジョージ・W・ブッシュ米国前大統領の指示により制定された。

右のサンゴの写真は、水深1750メートルの海山で潜水艇によって撮影されたもので、正式名称はまだついていない。しかし、ハワイ大学マノア校の生物学者 Les Watling の研究室では、これを「Slurpisis」とよんでいる。「形が飲み物用のストローに似ていることから slurp (ズルズルすするの意味) で、それにトクササンゴ科 (Isididae) を意味する「isis」を付けたのです」と Watling は説明している。 ■

